

青森・弘前城の曳屋に挑む、米沢の職人



観光客が次々に訪れ、持ち上げられた天守をバックに記念撮影していた。左の仮台まで移動させ、曳屋は完了する
=7日、青森県弘前市



天守の下でジャッキの状態を確認する我妻組の石川憲太郎さん(左)と我妻光昭さん



木製の展望デッキから作業を見学する観光客や市民ら

愛される棟梁 天守動かす 観衆見守り、世紀の大事業

曳屋を任されているのは たつていた。専門業者の我妻組(我妻悦雄社長)。当日は取締役工 霧困気がいい。技が受け継 事部長の石川憲太郎さん (40)と我妻光昭さん(31)が 天守を回転させる作業に当

「職人は若い人が多く、業を見つけてきた弘前市内の男性は話した。現場の一 角には木製の展望デッキが 設けられている。平日にも

かかわらず、見学する人の 列が続いていた。地元紙の東奥日報による と、曳屋の様子は青森県の 新聞やテレビで何度も取り 上げられている。石川さん

世紀のプロジェクトに米沢の会社が携わっていると聞き、7日に青森県の弘前城を訪ねた。行われているのは本丸の天守を解体せずに動かす曳屋(ひきや)工事。米沢の職人たちは観光客や市民に見守られながら大事業に挑んでいた。

話題の 十字路

【メモ】国の重要文化財である弘前城本丸の天守の曳屋は石垣の大改修に伴い、100年ぶりに行われている。移動距離は約80m。既に約60m動き、今月下旬までに残りを移動させ、仮台に載せて完了する。

米沢藩9代藩主 徳をしのぶ「藉田」の抜穂(ぬきほ)米沢市御廟3丁目の田んぼで行われ、働く意欲をなくとを奮起させようと(安永元)年、中耕儀礼「藉田」にわで田を耕したとの精神を後世に伝杉、松岬両神社が。米沢稔(みの)清一会長)のメンが参加。烏帽子(装束姿で、黄金色)の水田に足を踏



編んだ籠や雑貨など2人の計1000点が並ぶ。金一日曜の展示で18日まで。

詐欺防ぎ感謝状 特殊詐欺被害者を未然に防いだとして、長井警察署(三沢修一署長)は6日、長井十日町郵便局の横山泰三局長(47)と主任の児玉加代子さん(26)に感謝状を贈った。写真。市内の80代女性が2日、同局の窓口を訪れ「リフォーム代として170万円を引き落と



「したい」と依頼。1日夕から長井、南陽両市で不審な電話が相

HPに動画 電子版はタブレット

【米沢】時、置賜総米沢(出張ハローワー座は午後2時、近野教は午後4時ル北側。【川西】時、塩ノ沢15分、小松は午後1時、きらりり後5時半、駐車場。【南陽】園式は午前特設会場。【高島】会は午前9中央公民館【長井】午前10時、秋の夜トは午後6時、秋の夜時、市民文【白鷹】10時、蚕桑ンタ。健康つ時、健康つ後7時、親子おセシタ。【飯豊】午前10時、心配こ人権なんで談は午後1